



くろ潮

(東京水泳協議会)



←夏合宿
坂田海岸
(2015年7月)

→記念誌「40年の歩み」



「スポーツを勤労者の手に」という新日本体育連盟(当時)の理念の元に誕生した「あら波」を母体として、区立で初めての温水の文京プールで1969年8月に誕生。現在、私たちの身近には当たり前のように温水プールがあり、気軽に泳ぐことができますが、ほんの40～50年前までは、泳げる人は一部の人でした。そのため泳ぎへの潜在的要求が強く、そんな時代の要請のなかで「くろ潮」は生まれました。

最盛期には会員61名を擁しましたが、結成46年が過ぎ、現在は6名+アルファの少数精鋭で活動しています。2010年にはクラブ結成40年を記念して「くろ潮40年の歩み」を発行しました。

若かった仲間もみんな現役を引退し、自分の体調と相談しながら、月1回の練習会、ミーティング、夏の海合宿(夜は会員によるギター生演奏)、忘年会、小旅行、水泳を中心にしながら交流を深めています。そんな現状ではありますが、唯一の30代のファミリー会員に希望を託しています。モットーは「継続は力なり」「ちょっとでも健康寿命を長く」。何歳になっても、タイムを別にすれば、日々発見があり進歩がある。だから水泳は楽しく、やめられない。

(伊藤ふじ子さんより)